

TARAMA AIRPORT

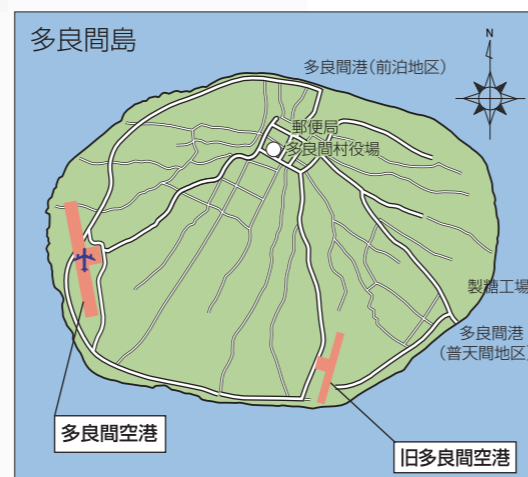
■空港の概況

多良間空港は、昭和46年3月米国民政府援助資金により緊急着陸飛行場（主に救急患者の輸送）として建設され、同年12月から民間航空による運航が開始された。

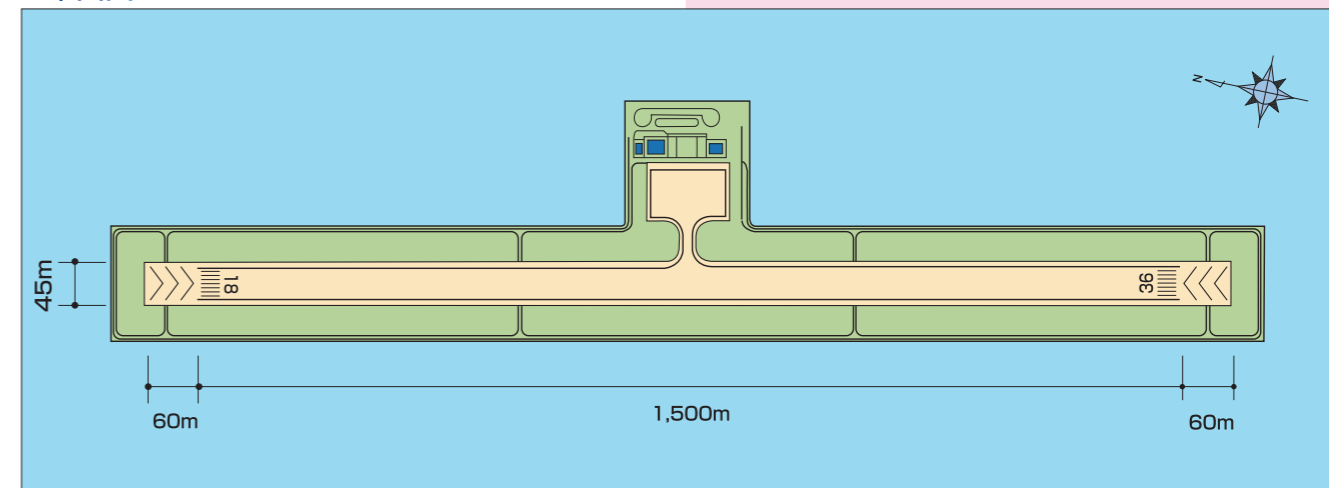
昭和47年度から航空法に基づく拡張整備を行い、昭和49年7月滑走路800mで供用開始した。

その後、航空需要の増大や機材の大型化に対応するため、プロペラ機が就航可能な滑走路長1500mを有する空港を島の西側に整備し、平成15年10月10日供用開始した。

■位置図



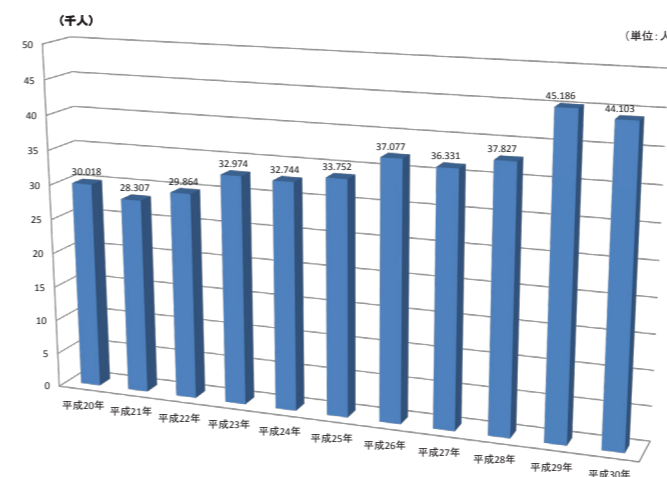
■平面図



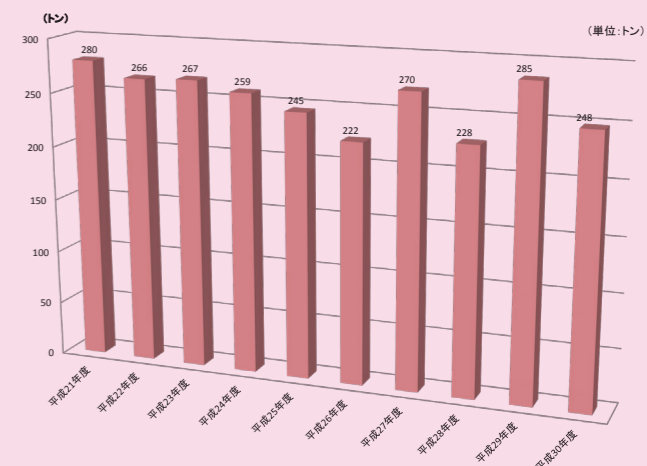
▲ターミナルビル

■航空輸送実績

旅客数の推移



貨物量の推移



※平成19年度10月以降、郵政民営化に伴う郵政法改正により小包郵便及び速達郵便は貨物扱いとなった。

■沿革

- S.46. 3. 1 緊急着陸用飛行場として建設
- S.46.12. 2 民間航空機運航開始
- S.47.11.14 飛行場現況届告示 (R/W 780m)
- S.48. 1.25 多良間空港設置許可 (R/W 800m、設置者：沖縄県)
- S.48. 2.27 第三種空港に政令指定
- S.49. 7.26 供用開始 (R/W 800m)
- H.11.10.15 新多良間空港設置許可 (R/W 1,500m)
- H.11.10.29 第三種空港に政令指定
- H.15.10.10 多良間空港供用廃止
- H.15.10.10 新多良間空港供用開始 (R/W 1,500m)
- H.16. 7. 8 名称変更 (新多良間→多良間)
- H.20. 6.18 地方管理空港に政令指定 (法改正に伴う)

■空港諸元

項目	概要
種別	地方管理空港
設置管理者	沖縄県
所在地	宮古郡多良間村
標点位置	北緯24° 39' 14" 東経124° 40' 31"
標高	10.3m
空港面積	348,737㎡
着陸帯	1,620×150m D級
滑走路	1,500m×45m LA-4 N352° 46'44"E:真方位
誘導路	77.5m×18m
エプロン	7,700㎡ プロペラ機用 2バース
航空灯火	進入角指示灯、滑走路末端識別灯
航行援助施設	VOR/DME
駐車場	3,256㎡ 92台
Tビル面積	989㎡
運用時間	08:00~18:00 (10時間)

■路線別就航状況

(令和2年1月現在)

路線	航空会社	就航機種	日便数	所要時間
宮古	RAC	DHC-8	2	25分

市町村概況

行政区	人口(人) (R1.7現在)	世帯数(世帯) (R1.7現在)	面積(km ²) (R1.7現在)
多良間村	1,137	518	22